

令和6年度 下水道事業会計 決算概況

1 総括事項

【有収水量】

- ・近年の有収水量については、小口の使用水量は増加しているものの、大口の使用水量は減少となっていることから、全体としては、ほぼ横ばいで推移

【事業面】

- ・令和元年東日本台風を踏まえた浸水への対策や大規模地震発生時においても下水道機能を損なわないための地震対策等、下水道が抱える課題を解決するための様々な取組を実施

【財政面】

- ・損益において予算対比で一般会計負担金等の減により減収となったものの、動力費等の費用が減となったことから、当年度純利益は増加
- ・単年度資金については資金不足が生じ、累積資金残額は減少

2 業務の状況

処理面積	処理人口	人口普及率	有収水量	下水道使用料（税抜額）
1万725ha	154万7,488人	99.6%	151,620,308m ³	219億892万8,656円

3 建設及び改良工事

【建設改良費の決算額】

- ・前年度からの繰越事業費を加えて、243億4,396万7,615円
- ・令和7年度への繰越額は、102億311万8,300円

【主な建設改良工事】

<管 き よ>

- ・浸水リスクの高い土橋地区等で浸水被害軽減に向けた浸水対策工事を施行
- ・重要な管きよのうち、避難所や重要な医療機関と水処理センターとを結ぶ管きよの地震対策工事を施行

<ポ ン プ 場>

- ・老朽化の進む大師河原ポンプ場の再構築に向けた建設工事を施行
- ・各ポンプ場で老朽化した設備の更新工事を施行

<水処理センター>

- ・等々力水処理センターで高度処理化に向けた建設工事を施行
- ・各水処理センターで老朽化した設備の更新工事を施行

4 経理の状況

(単位 円：税込額)

区 分	収 入	支 出	収支差引
収益的収支	44,555,417,138	40,572,442,426	3,982,974,712
収益的収支差額（税抜額）	=	当年度純利益（△純損失）	2,564,031,093 円

(単位 円：税込額)

区 分	収 入	支 出	収支差引
資本的収支	38,306,340,448	59,511,854,346	△ 21,205,513,898

資本的収入額（翌年度に繰越される支出の財源に充当する額4,000,000円は除く。）が資本的支出額に不足する額21,209,513,898円は、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額 1,416,593,265円、減債積立金 2,635,673,143円、過年度分及び当年度分損益勘定留保資金17,157,247,490円で補填した。

問合せ先
川崎市上下水道局総務部財務課
宮森
電話：044-200-2863

【収益的収支】

(単位 円)

区分	収入 (税込)	支出 (税込)	差引 (税込)	税抜処理後 純損益	前年度 繰越利益剰余金	その他未処分 利益剰余金変動額	当年度未処分 利益剰余金
予算現額	45,235,934,000	43,852,696,000	1,383,238,000	21,547,000	2,386,869,000	0	2,408,416,000
決算額	44,555,417,138	40,572,442,426	3,982,974,712	2,564,031,093	0	2,635,673,143	5,199,704,236
執行率	98.5%	92.5%	—	—	—	—	—

【資本的収支】

(単位 円)

区分	収入 (税込)	支出 (税込)	差引 (税込)	補 填 財 源 等				再差引
				繰越工事資金	損益勘定 留保資金	前年度 財源充当額	その他	
予算現額	48,819,066,000	70,350,888,000	△ 21,531,822,000	0	20,189,989,000	0	1,341,833,000	0
決算額	38,306,340,448	59,511,854,346	△ 21,205,513,898	△ 4,000,000	17,157,247,490	0	4,052,266,408	0
執行率	78.5%	84.6%	—	—	—	—	—	—

(税込額)

	令和6年度	令和5年度	増△減額	増△減率 %	備 考	
1 収益的収入	445億5,500万円	441億500万円	4億5,000万円	1.0		
主な収入	下水道使用料	240億9,800万円	241億2,100万円	△2,300万円	△ 0.1	
	一般会計繰入金	120億1,800万円	116億5,400万円	3億6,400万円	3.1	雨水処理負担金の増
	長期前受金戻入	74億7,100万円	73億2,800万円	1億4,300万円	2.0	国庫補助金戻入の増
2 収益的支出	405億7,200万円	401億300万円	4億6,900万円	1.2		
主な支出	維持管理費	143億100万円	142億3,200万円	6,900万円	0.5	
	資本費	261億2,900万円	257億2,600万円	4億300万円	1.6	減価償却費の増
3 差引（1－2）	39億8,200万円	40億200万円	△2,000万円	△ 0.5		
※ 純損益（税抜額）	(純利益) 25億6,400万円	(純利益) 26億3,500万円	△7,100万円	△ 2.7		
4 資本的収入	383億600万円	334億7,000万円	48億3,600万円	14.4		
主な収入	国庫補助金	75億6,300万円	73億6,100万円	2億200万円	2.7	
	企業債	300億5,300万円	249億8,500万円	50億6,800万円	20.3	建設企業債の増、借換企業債の増
	一般会計出資金	200万円	3億7,300万円	△3億7,100万円	△ 99.5	一般会計出資金の減
5 資本的支出	595億1,100万円	571億1,400万円	23億9,700万円	4.2		
主な支出	建設改良費	243億4,300万円	233億4,100万円	10億200万円	4.3	工事請負費の増
	企業債償還金	319億3,300万円	307億3,200万円	12億100万円	3.9	企業債償還金の増
6 差引（4－5）	△212億500万円	△236億4,400万円	24億3,900万円	△ 10.3		
7 資金不足比率	(資金不足となっていない) -	(資金不足となっていない) -			財政健全化法における経営健全化基準 20%	

※ 金額については、百万円未満を切り捨て。

※ 増減率については、小数点第2位を四捨五入。